

令和3年度第3回堺市依存症対策推進懇話会 書面聴取者意見一覧

委員名	箇所	意見・質問等	回答
小野委員	第2章「堺市の現状と課題」	アルコールの相談実績において、HCでの相談実人数が減少傾向にあるのはどういう理由からでしょうか？	HCの相談全体が減少傾向にあり、近年さまざまな関係機関が増えたことにより、相談が分散されたということが考えられます。また情報の多様化により、直接医療機関に受診されたり、自助団体に繋がっている方も増えていることも考えられます。
小野委員	第2章「堺市の現状と課題」	回復施設の中に、堺市が拠点のフェニックス会が入っていないのはどういう区別なのでしょうか？	今回の計画の掲載団体については、OAC加盟団体を基準としています。今後については、別冊の更新や計画改定の際などに追加については
小野委員	第2章「堺市の現状と課題」	えんどうこころのクリニックは専門医療機関ではない？	現在は、専門医療機関ではありません。
小野委員	第2章「堺市の現状と課題」	対象の「依存症」にゲーム障害がないのは意図的なものですか？	ゲーム障害なども全般としては記載していきますが、対象のところでは主なものとして3依存だけを挙げています。
はま委員	案件以外に関するご意見	依存症対策では、計画に基づいてすすめて頂き感謝しています。家族会の視点からも初めての相談に来られるまでの期間、自助グループに繋がってからのその期間、何より、体験者が寄り添い支えることを実際にしていく事の大切さを痛感しています。	